

「地域の方に見守られて」

校長 村上俊一

「学校だよりをいつも楽しみにしていますよ。」「という励ましの言葉を、地域のたぐさんの方から頂きます。みなさんで、神石小学校の子どもたちを、そして学校を見守ってくださっていることを感じ、ありがたい気持ちでいっぱいです。」

あんなに運動なご様子も、いつも子どもたちを見守ってくださいます。」「おはようございます」と立ち止まってあんなに声をする子ども「、」「はいあんなにができるね」と声をかけてくださる地域の方の姿「、』『』」だまし合っ心』とあんな言葉が浮かびました。」「ごだまとは、」「まんなに受け入れる」とです。いつも私たちの周りにいてくれたすてきな大人の人達は、ごだましてくれる人でした。転んで「痛い」という私に、親は「痛いね」と私の痛さをまんなに受け入れて返してくれました。ごだまは、「ヤッホー」と呼びかけたら「ヤッホー」と半分の大きさになって返ってくるわけですから、「痛いね」と返してもらったとき、私の痛さは半分になることができました。」「神石小学校の子どもたちは、地域の方々のごだまに、逆に何倍もの元気をいただいで健やかに伸びていることを感じます。幸せな神石小学校の子どもたちです。」